

第1章／電力所と環境との関わり

山間部にある水力発電所で発電された電気は、輸送ロスが少ない高い電圧で送電線を経由してお客さまの近くの変電所まで送られます。変電所に届いた電気は低い電圧に下げられ、配電線でお客さまへ届けられます。

電力所は、当社電気設備のうち、水力・変電・送電設備を管理する事業所であり、事業活動における電力所と環境との関わりを図示すると以下ようになります。

ダム・水路

【リサイクル】

水力発電所の取水ダムなどに河川の流木などが堆積します。

----- [P11「流木の有効活用」へ](#)



水力発電所

【温室効果ガスの削減】

水力発電は、水の力で電気をつくる貴重な純国産エネルギーであり、発電時CO₂が発生しないなど環境面で優れた発電方式です。

----- [P10「国産自然エネルギーの有効利用」へ](#)

【汚染予防】

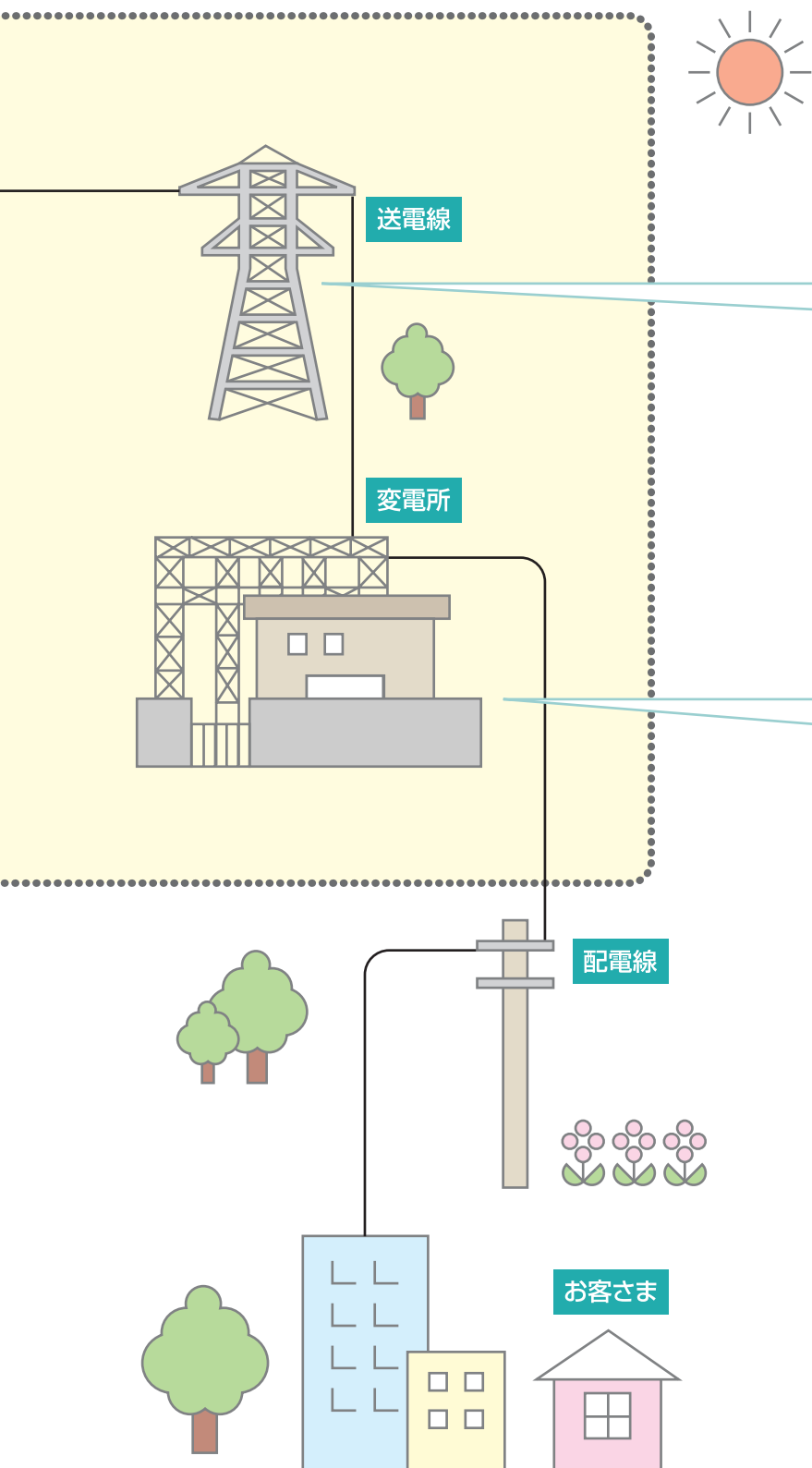
水力発電所の油圧機器の油が河川に流出する恐れがあります。

----- [P10「環境負荷の低減」へ](#)



電力所管轄範囲





送電線

【景観保全】

山間部の鉄塔建設には森林の一部伐採を伴います。

----- P11「送電鉄塔の環境調和」へ



変電所

【温室効果ガスの削減】

ガス絶縁開閉器の内部には、地球温暖化、オゾン層破壊に影響があるSF₆ガスが使用されています。

----- P11「オゾン層破壊ガスの回収徹底」へ

その他(事務所内活動)

----- P8・12・13 へ

【省エネルギー】

・事務所内の活動で電力を消費します。

【省資源】

・事務所内の活動で紙を消費します。

【リサイクル】

・事務所内の活動でゴミが発生します。